

# 令和元年度 第1回役員会議事録

**日時** 令和元年6月26日(水) 9:30~10:55  
**場所** 本部棟2階 小会議室1  
**出席者** 沖理事長、兼信副理事長、松田理事、高橋理事、末岡理事 [5名/5名]  
〔監事〕井上監事、大土監事 [2名/2名]  
(事務局) 小西次長、井上企画広報室長、鈴木主事、駒井課長、中島経理班長、谷副参事、  
田淵総務班長、齋藤主任

## 1 開 会

## 2 役員の紹介等

自己紹介が行われた。

## 3 議事録の確認

平成30年度第6回役員会(平成31年3月28日)の議事録案は、承認された。  
役員に事前確認をしていただき、次回から読上げは行わないこととされた。

## 4 議 題

### [1] 審議事項

#### (1) 第2期中期計画・平成31年度に係る業務実績について

- ・平成30年度の実績等について(スケジュール)
- ・平成30年度に係る業務の実績に関する報告書(案)
- ・平成30年度における重点的な取組に関する実績(案)
- ・公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に関する評価の実施基準

事務局から、別添資料1~4により説明があり、原案どおり承認された。  
法人自己評価が4及び2のものにつき説明があった。

#### 【理事意見等】

- ・研究機関としての大学の評価基準も随分設定されている。  
産学連携も、学生が学び、知見や知識を身につけることも、研究を行うことも重要。  
→研究発表・論文成果が少なく、活動が低調なことは問題と認識している。クォーター制導入後、教育や地域貢献のために教員の研究が減少したと感ずることから、セメスター制とクォーター制について検討する必要があると考える。  
→情報工学は理系としての一般的評価が可能だが、保健福祉は実学であること、デザインは常に作品発表が評価となることをまとめて一つで評価することは難しい。  
→研究活動について助手・助教の研究教育の時間確保が重要だが、教育や社会貢献に時間が取られている実情がある。

#### (2) 第2期中期計画に係る業務実績について

- ・第2期中期計画に係る業務の実績に関する報告書(案)

事務局から、別添資料5により説明があり、原案どおり承認された。  
法人自己評価が4及び2のものにつき説明があった。

**(3) 平成 30 年度決算 (案) について**

事務局から、資料 1 により説明があり、原案どおり承認された。

**(4) 公立大学法人岡山県立大学役員退職手当規程の一部改正 (案) について**

事務局から、資料 2 により説明があり、原案どおり承認された。

**[2] 報告事項**

**(1) 岡山県立大学名誉教授の称号の授与について**

事務局から、資料 3 により報告があった。

**(2) 外部資金の獲得状況について**

事務局から、資料 4 により報告があった。

○次回役員会は令和元年 9 月 24 日 (火) 13 : 30 から開催する予定。